

社 報



現象を原理化しない

新年おめでとう！

あけまして
おめでとうございます。

今年はどうな年になるのか、知る由もありませんが、成すべきことを、しっかりと成し、自らの力で良い年にしていきたいでしょう。

未来は明るく希望に満ちています。その恩恵に与えるかどうかは、自らの力を発揮するかしないかです。今年も頑張りましょう。



難しいような表題ですが、これは普段から良く行う行動に対するイマシメです。

例えば、宝くじを買ったとしましょう。A駅前の販売店で宝くじを買ったら、3等100万円が当たったとします。当たった人は嬉しくて、次から宝くじはA駅前の販売所でしか買わなくなりました。

この事例での現象は、A駅前の宝くじ販売店で宝くじを買ったら当たったということです。

宝くじは何億枚と販売されます。その中には必ず当たりが含まれていますので、全国の販売店で、当り1等・2等・3等が販売されるのです。どこかの販売店で当たりくじが販売されることは当然のことで、ラッキーでもなんでもありません。

(当たりを買った方はラッキーです。) ただの起こるべくして起きる現象が発生しただけのことです。

次に、この現象での原理化とは、買った宝くじが当たったという現象は、偶然に生じた出来事だと分かっている、もう一度、その幸運にあや

かりたいばかりに、A駅前の販売店で宝くじを買うと決めたことです。

宝くじはある確率で偶然に発生するのですから、当たりが出やすい販売店などあるはずもなく、A駅前の販売店で宝くじを買うのは、なんら意味のないことです。

本人のこだわりと言えば、こだわりなのでしょうが、意味のないこだわりです。

宝くじが当たるか当たらないかは、偶然にしかありませんから、こうした意味のないこだわりでも、本来の宝くじを買う、という行為に悪い影響を及ぼすものではありません。

しかし現実の世界でも、これに近いような事象が見られます。マルチ商法などは、成功現象を見せつけて、それをルール化して、売りつけます。購入する人は、難しい原理は分からないとして、現象を信じてしまいます。

建設現場では、脚立からの転落事故が多いとして、脚立を使用禁止にしてみました。

現象を原理化してはいけません。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

昨年の事故事例を振り返る

2件の休業災害が発生しました。
1件めは、雪が降る中でスラブベニアを貼っている最中に、雪で足元が滑り、腰袋の中のポンチが腰に刺さったという事案でした。(2011.2.12)
2件めは、スパンクリートPC版を据付作業で、玉掛け地切りをしたところ、吊荷とフックの重心がずれていた為

に、荷が振れて、玉掛者の足がはさまれた事案です。(2011.3.11)

どちらの事故も、もう少し危険について配慮していれば、防げたような気がします。

しかし、四六時中怪我をしないことばかり考えていては、仕事になりません。もっとも大切なのは基本です。

2011年 安全成績

■ 現場災害 H23.1.1-H23.12.31	
休業災害	---- 2
不休災害	---- 2
物損災害	---- 0
その他	---- 0
合計	---- 4
■ 交通災害 H23.1.1-H23.12.31	
人身災害	---- 0
物損災害	---- 3
合計	---- 3